

大会盛り上げに手応え

袋井で発表会



飲食店と協力して開発したメニューを紹介する学生=30日午後、袋井市のエコパスタジアム

県西部の
学生ら
地域連携活動振り返る

ラグビーワールドカップ(W杯)の機運醸成を目的に県内の大学や専門学校が地域の店舗などと連携して取り組む「ラ☆ガールプロジェクト」の活動発表会が30日、袋井市のエコパスタジアムで開かれた。

プロジェクトは県西部地域の事業の一環で、静岡産業大、静岡門学校の学生が参加し

た。掛川、袋井、磐田、浜松、湖西の各市の15店舗と協力し、ラグビーをイメージしたラテやどんぶり、クッキーなどを開発。発表会ではメニューの工夫点やプロジェクトに参加した感想も語った。

静岡文化芸術大の学生はラグビーのPR映像も作成し、地元信用金庫や県西部の市役所などで放映して競技の

魅力を発信した。3年の今村理沙子さん(21)は「W杯の盛り上げに大学の学びを生かすことができ、貴重な経験だった」と振り返った。

プロジェクトに参加した店舗やメニューを紹介するカタログは県西部の市町や観光案内所などに設置する予定。(袋井支局・中原僚介)

**ラグビー
W杯**
来月開幕